

参考文献

1 論文・著書

- 青木美智男他編『一揆』1、5、東京大学出版会、一九八一年
- 赤塚次郎「海部郡と三河湾の考古学」網野善彦他編『海と列島文化』八、小学館、一九九二年
- 赤松俊秀『鎌倉仏教の研究』平楽寺書店、一九五七年
- 〃『続鎌倉仏教の研究』平楽寺書店、一九六六年
- 〃『座について』『古代中世社会経済史研究』平楽寺書店、一九七二年
- 浅井和春・浅井京子「参考文献」『日本の古寺美術』七、東大寺Ⅱ、保育社、一九八六年
- 浅香年木「重蔵三神考」『古代地域史の研究』法政大学出版局、一九七八年
- 〃「中世北陸の在地寺院と村堂」『中世北陸の社会と信仰』法政大学出版局、一九八八年
- 〃「地方豪族と神社」下出積興・圭室文雄編『講座神道』一、桜楓社、一九九一年
- 渥美町史編さん委員会編『渥美町史』考古・民俗編、一九九一年
- 〃『渥美町史』歴史編・上―二、一九九一年
- 阿部泰郎「播磨中世天台寺院と修正会」『古代研究』一二、一九七七年
- 網野善彦「中世における漁場の成立」『史学雑誌』七二―七、一九六三年
- 〃「荘園公領制の形成と構造」竹内理三編『体系日本史叢書』六、土地制度史Ⅰ、山川出版社、一九七三年
- 〃『日本の歴史一〇 蒙古襲来』小学館、一九七四年
- 〃「東寺供僧と供料荘の発展」『中世東寺と東寺領荘園』東京大学出版会、一九七八年
- 〃「平安時代末期く鎌倉時代における塩の生産」日本塩業大系編集委員会『日本塩業大系』原始・古代・中世（稿）、日本専売公社、一九八〇年
- 〃「中世の堅田について」『年報中世史研究』六、一九八一年
- 〃「中世における天皇の支配権と供御人・作手」『日本中世の非農業民と天皇』岩波書店、一九八四年
- 〃「宇治川の網代」同右新稿
- 〃「古代・中世・近世初期の漁撈と海産物の流通」永原慶二他編『講座日本技術の社会史』二、塩業・漁業、日本評論社、一九八五年
- 〃「中世の負担大系―上分について」『三浦古文化』四一、一九八七年
- 〃「太平洋の海上交通と紀伊半島」網野善彦他編『海と列島文化』八、小学館、一九九二年
- 〃「西園寺家とその所領」『国史学』一四六、一九九二年
- 網干善教「国学院大学蔵『瓦経』片の復原研究」『国学院雑誌』七八―九、一九七七年
- 〃「国学院大学蔵『瓦経』の復原研究・補記」『国学院雑誌』八〇―四、一九七九年

- " 奈良国立博物館蔵を主とする瓦経の復原」『南都仏教』四二、一九七九年  
 " 東大寺伊良胡瓦窠跡出土の瓦経の復原」『南都仏教』四七、一九八一年  
 " 「伊勢小町塚出土の瓦経について」小野勝年博士頌寿記念会編『東方学論集』同会、一九八二年  
 新井孝重 「中世成立期の杣山をめぐる地域的構造」民衆史研究会編『民衆史研究の視点』三一書房、一九九七年  
 荒木敏夫 「東への海つ道と陸つ道」網野善彦他編『海と列島文化』八、小学館、一九九二年  
 " 「東の海つ道と伊良胡」『静岡県史研究』三、一九八七年  
 有富由紀子 「『靈異記』に見える「寺」の存在形態」平野邦雄編『日本靈異記の原像』角川書店、一九九一年  
 有本実 「知行国としての備前国」『瀬戸内海研究』六、一九五四年  
 飯沼賢司 「中世における『山』の開発と環境」『大分県地方史』一五四、一九九四年  
 " 「環境歴史学序説―荘園の開発と自然環境―」『民衆史研究』六一、二〇〇一年  
 家永三郎 『中世仏教思想史研究』法蔵館、一九四七年  
 " 『日本道徳思想史』岩波書店、一九五四年  
 " 「六道絵とその歴史」家永三郎編『日本絵巻物全集』七、角川書店、一九七六年  
 " 「書評・平雅行著『日本中世の社会と仏教』」『日本史研究』三七八、一九九四年  
 池田寿 「高野山と村落寺社」『日本歴史』五六七、一九九五年  
 池辺彌 「氏族と神社」竹内理三博士古稀記念会編『律令国家と貴族社会』吉川弘文館、一九六九年  
 石井進 「古今著聞集」の鎌倉武士たち」『鎌倉武士の実像』平凡社、一九八七年  
 石井進・萩原三雄編 『中世社会と墳墓』名著出版、一九九三年  
 石尾和仁 「中世社会と『古墳』」『真珠』一九九九年  
 石田尚豊 「重源の阿弥陀名号」『大和文化研究』六・八、一九六一年  
 石田充之 『日本浄土教の研究』百華苑、一九五二年  
 石田茂作 『考古学講座 経塚』雄山閣出版、一九二七年  
 石部正志 「歴史時代における古墳の再利用」『同志社大学考古』一、一九六一年  
 石母田正 『中世的世界の形成』伊藤書店、一九四六年  
 " 『古代末期の政治過程および政治形態』日本評論社、一九五〇年  
 " 『古代末期政治序説』未来社、一九五六年  
 " 「辺境の長者(一)(二)(三)」『歴史評論』九二・九五・九六、一九五八年  
 市川秀之 「狭山池の発掘調査」『日本歴史』五八一、一九九六年  
 " 「井堰と池溝」大塚初重他編『考古学による日本歴史』二、産業I、雄山閣出版、一九九六年  
 市沢哲 「鎌倉後期の公家政権の構造と展開」『日本史研究』三五五、一九九二年

- 伊藤克己「中世の温泉と『温泉寺』をめぐる」『歴史学研究』六三九、一九九二年
- 伊藤清郎「中世国家と八幡宮放生会」『文化』四一一・二、一九七八年
- 〃「石清水放生会の国家的な位置についての考察」『日本史研究』一八八、一九七八年
- 伊藤邦彦「諸国一宮・惣社の成立」『日本歴史』三五五、一九七七年
- 〃「諸国一宮制の展開」『歴史学研究』五〇〇、一九八二年
- 伊藤喜良「南北朝動乱期の社会と思想」歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本歴史』三、中世一、東京大学出版会、一九八四年
- 〃「寺社縁起からみた東国」小林清治先生遷曆記念会編『福島地方史の展開』名著出版、一九八五年
- 〃「中世後期の雑芸者と狩獵民」『東国の社会と文化』梓出版社、一九八五年
- 伊藤唯真『仏教と民俗宗教』刊行会、一九八四年
- 〃『伊藤唯真著作集』一・二、聖仏教史の研究上・下、法蔵館、一九九五年
- 稲葉伸道『中世寺院の権力構造』岩波書店、一九九七年
- 稲本紀昭『伊勢・志摩の交通と交易』網野善彦他編『海と列島文化』八、小学館、一九九二年
- 井上薫「ひじり考」『ヒストリア』一、一九五一年
- 井上正一「奈良朝における知識について」『史泉』二九、一九六四年
- 井上鋭夫『一向一揆の研究』吉川弘文館、一九六八年
- 井上寛司「中世諸国一宮制と地域支配権力」『日本史研究』三〇八、一九八八年
- 〃「中世神社史研究の課題」『歴史科学』一六二、二〇〇〇年
- 井上光貞『日本浄土教成立史の研究』山川出版社、一九五六年
- 〃『日本古代の国家と仏教』岩波書店、一九七一年
- 井上光貞・上山春平監修『大系 仏教と日本人』一〜一、春秋社、一九八五〜八九年
- 井原今朝男「中世国家の儀礼と国役・公事」『歴史学研究』五六〇、一九八六年
- 〃「中世の五節供と天皇制」『歴史学研究』六二〇、一九九二年
- 今井雅晴『時宗成立史の研究』吉川弘文館、一九八一年
- 今谷明「平泉澄と権門体制論」『中世の寺社と信仰』吉川弘文館、二〇〇一年
- 入間田宣夫「鎌倉幕府と奥羽两国」小林清治・大石直正編『中世奥羽の世界』東京大学出版会、一九七八年
- 〃『百姓申状と起請文の世界』東京大学出版会、一九八六年
- 上島享「中世宗教支配秩序の形成」『新しい歴史学のために』二四二・二四三、二〇〇一年
- 上島有「荘園文書」永原慶二他編『講座日本荘園史』第一卷、吉川弘文館、一九八九年
- 宇治市『宇治市史』第一卷、一九七三年
- 牛山佳幸「早良親王御霊その後」竹内理三先生喜寿記念論文集刊行会編『荘園制と中世社会』東京堂出版、一九八四年
- 歌川学「三河国の条里制」『伊勢湾岸地域の古代条里制』東京堂出版、一九七九年
- 馬田綾子「荘園の寺社と在地勢力」寺院史研究会編『中世寺院史の研究』上、法蔵館、一九八八年

上横手雅敬「中世的倫理と法」『日本史研究会編』講座日本文化史』三、三一書房、一九六三年

江谷寛「日本靈異記に見える寺院」『歴史研究』二、一九六四年

榎原雅治「中世後期の地域社会と村落祭祀」『歴史学研究』一九九二年度大会報告特集号、一九九二年

〃「地域社会における『村』の位置」『歴史評論』五七五、一九九八年

海老澤衷『荘園公領制と中世村落』校倉書房、二〇〇〇年

遠藤美保子「『悪人正因』理論と顕密体制論への若干の疑問」『年報中世史研究』二三、一九九八年

速藤元男「職人の組織としての座について」『社会経済史学』三一、一九三三年

追塩千尋「教尊における密教の意義」『日本歴史』三四三、一九七六年

〃「教尊の諸信仰と慈善救済事業」『南都仏教』四〇、一九七八年

〃「平安初期の地方救療施設について」『日本仏教史学』二二、一九八七年

大石直正「治承・寿永内乱期南奥の政治的情勢」豊田武先生古稀記念会編『日本中世の政治と文化』吉川弘文館、一九八〇年

大石雅章「寺院と中世社会」朝尾直弘他編『岩波講座 日本通史』八、中世二、一九九四年

太田愛之「古代村落の再編」『日本史研究』三七二、一九九三年

太田順三「河口干潟における中世的開発の展開と絵図」荘園絵図研究会編『荘園絵図研究』東京堂出版、一九八二年

大畑正一「古代における放生とその説話」『生江義男先生選暦記念歴史論集』同会、一九七八年

大平聡「天平期の国家と王権」『歴史学研究』五九九、一九八九年

〃「居村『放生木簡』と古代の放生」『六浦文化研究』一、一九八九年

大屋徳城『日本仏教史の研究』東方文献刊行会、一九二九年

大山喬平「鎌倉期の村落」『日本中世農村史の研究』岩波書店、一九七八年、初出一九六三年

岡田重精『齋忌の世界』国書刊行会、一九八九年

岡田精司「神社建築の源流」『考古学研究』四六一二、一九九九年

岡本清造『漁場地代論』御茶ノ水書房、一九七九年

岡本寛久・伊藤晃『岡山県埋蔵文化財発掘調査報告』三七、一九八〇年

荻野三七彦「磐城の薬王寺と金沢称名寺」『金沢文庫研究』一〇一三、一九六四年

〃「磐城の薬王寺(1)(2)」『金沢文庫研究』一一一〇〜一二、一九六五年

奥田真啓『中世武士団と信仰』柏書房、一九八〇年

奥村秀雄「経塚研究の一視点」『大和文化研究』八一八、一九六三年

〃「伊勢地方における埋経」『MUSEUM』一六七、一九六五年

〃「伊勢地方出土の瓦経」『陶説』一四三、一九六五年

〃「伊勢小町塚出土の瓦経」『考古学雑誌』五三一、一九六七年

小倉慈司「古代在地祭祀の再検討」『ヒストリア』一四四、一九九四年

小栗栖健治「近江国滋賀郡仰木庄の宮座」『近江地方史研究』二一、一九八五年

- 小野田勝一「陶製五輪塔」『知多古文化研究』一、一九八四年
- 小原仁「中世における埋経の展開とその基調」『日本歴史』三〇七、一九七三年
- 海津一朗「『武家の習』と在地領主制」『民衆史研究』二六、一九八六年
- 〃〃〃「中世在地社会における秩序と暴力」『歴史学研究』五九九、一九八九年
- 〃〃〃「正安の伊勢神宮領興行法と公武関係」『史学雑誌』一〇一―一九、一九九二年
- 〃〃〃「弘安の神領興行法と東国諸御厨」『地方史研究』二三九、一九九二年
- 〃〃〃「伊勢神宮の荘園制」『中世の変革と徳政』吉川弘文館、一九九四年
- 寛泰彦『中世武家家訓の研究』風間書房、一九六七年
- 景山春樹「横川における如法写経と埋経」『考古学雑誌』五四―三、一九六九年
- 笠原一男『真宗教団開展史』畝傍書房、一九四二年
- 〃〃〃『親鸞と東国農民』山川出版社、一九五七年
- 勝浦令子「律令制下贖納の変遷」『日本歴史』三五二、一九七七年
- 〃〃〃「古代における禁猟区政策」井上光貞博士遷曆記念会編『古代史論叢』下、吉川弘文館、一九八〇年
- 勝田至「中世民衆の葬制と死穢」『史料』七〇―三、一九八七年
- 〃〃〃「村落の墓制と家族」峰岸純夫編『家族と女性』吉川弘文館、一九九二年
- 勝俣鎮夫「地発と徳政一揆」『戦国法成立史論』東京大学出版会、一九七九年
- 金井圓「鎌倉時代の備前国衝領について」『藩制成立期の研究』吉川弘文館、一九七五年
- 兜木正亨「経塚埋納の経典」『考古学ジャーナル』一五三、一九七八年
- 上川通夫「中世西大寺流の宗教構造」『立命館文学』五二―一、一九九一年
- 〃〃〃「中世寺院の構造と国家」『日本史研究』三四四、一九九一年
- 〃〃〃「律令国家形成期の仏教」『仏教史学研究』三七・二、一九九四年
- 〃〃〃「中世仏教と『日本国』」『日本史研究』四六三、二〇〇一年
- 芥米一志「宇治綱代の形成」『史境』二三、一九九一年
- 〃〃〃「内膳司御厨の展開について」『延喜式研究』八、一九九三年
- 〃〃〃「荘園村落における寺社と宗教構造」『年報日本史叢』一九九三年
- 〃〃〃「西大寺教尊の殺生禁断活動について」『史潮』新三五、一九九四年
- 〃〃〃「荘園公領における僧侶・神主職について」『信濃』四六一―一〇、一九九四年
- 〃〃〃「日本中世における殺生観と狩猟・漁撈の世界」『史潮』新四〇、一九九六年
- 〃〃〃「遁世僧における顕密教の意義」『年報中世史研究』二二、一九九七年
- 〃〃〃「在地社会における経塚造営の意義」『金沢文庫研究』三〇〇、一九九八年
- 〃〃〃「荘園制的宗教秩序の形成」『歴史人類』三〇、二〇〇二年
- 河合正治『中世武家社会の研究』吉川弘文館、一九七三年
- 川合康「河内国金剛寺の寺辺領形成とその政治的諸関係」『ヒストリア』一二六、一九九〇年
- 川岡勉「南北朝期の在地領主・氏寺と地域社会」『ヒストリア』一四二、一九九四年
- 川崎庸之「いわゆる鎌倉時代の宗教改革について」『歴史評論』一五、一九四八年
- 河音能平「院政期における保成立の二つの形態」『史料』四六一―三、一九六三年
- 〃〃〃「中世社会成立期の農民問題」『中世封建制成立史論』東京大学出版会、一九

- 七一年、初出一九六四年
- 〃 『中世封建社会の首都と農村』東京大学出版会、一九八四
- 『王土思想と神仏習合』初出一九七六年
- 『畿内在地領主の長者職について』同右新稿
- 川端新『院政初期の立荘形態』『日本史研究』四〇七、一九九六年
- 〃 『大部荘の開発と水利』京都大学文学部博物館編『荘園を読む・歩く』一九九六年
- 〃 『荘園所職の成立と展開』『荘園制成立史の研究』思文閣出版、二〇〇〇年
- 川原秀夫『律令官社制の成立過程と特質』林陸朗先生選慶記念会編『日本古代の政治と制度』続群書類従完成会、一九八五年
- 北田英人『八〇―三世紀江南の湖と水利・農業』『東洋史研究』四七―四、一九八九年
- 〃 『唐代江南の自然環境と開発』柴田三千雄他編『シリーズ世界史への問い』一、歴史における自然、岩波書店、一九八九年
- 木田一『岩城氏系譜の検討』『福島史学研究』三五・三六、一九八〇年
- 鬼頭清明『御贄に関する一考察』竹内理三博士古稀記念会編編『続律令国家と貴族社会』吉川弘文館、一九七八年
- 〃 『古代における山野河海の支配と領有』朝尾直弘他編『日本の社会史』二、境界領域と交通、岩波書店、一九八七年
- 国守進『重源上人について』『山口県地方史研究』一八、一九六七年
- 〃 『周防袖の伝領と経営』『山口県文書館紀要』二、一九七一年
- 〃 『俊乗房重源と防長両国』『歴史手帖』五・九、一九七七年
- 久保文武『伊賀国の条里制』『伊賀史叢考』同朋舎、一九八六年
- 栗林文夫『中世地方寺院と地域社会』『歴史学研究』七〇二、一九九七年
- 黒田俊雄『荘園制社会と仏教』家永三郎他監修『日本仏教史』Ⅱ、法蔵館、一九六七年
- 〃 『日本中世封建制論』東京大学出版会、一九七四年
- 〃 『日本中世の国家と宗教』岩波書店、一九七五年
- 〃 『仏教革新運動の歴史的性格』『日本中世の社会と宗教』岩波書店、一九九〇年
- 〃 『黒田俊雄著作集』二、顕密体制論、法蔵館、一九九四年
- 黒田日出男『中世成立期の民衆意識と荘園体制』『歴史学研究別冊特集』世界史認識と人民闘争史研究、一九七一年
- 〃 『中世農業史・技術史の諸問題（一）』『民衆史研究』一六、一九七八年
- 〃 『荘園制的神祇支配と神人・寄人集団』竹内理三編『荘園制社会と身分構造』校倉書房、一九八〇年
- 〃 『中世の開発と自然』青木美智男他編『一揆』四、生活・文化・思想、東京大学出版会、一九八一年
- 〃 『中世民衆の皮膚感覚と恐怖』『歴史学研究別冊特集』民衆の生活・文化と変革主体、一九八二年
- 〃 『日本中世開発史の研究』校倉書房、一九八四年
- 〃 『広義の開発史と黒山』初出一九八〇

- 「開発・農業技術と中世農民」初出一九八三
- 「地獄の風景」『姿としぐさの中世史』平凡社、一九八六年
- 小島恵昭「別所の展開と聖の宗教活動」『同朋学園仏教文化研究所紀要』二、一九八〇年
- 後藤守一「三河に於ける見聞(二)」『考古学雑誌』一四一四、一九二四年
- 小西瑞恵「中世都市共同体の構造的特質」『日本史研究』一七六、一九七七年
- 「中世都市共同体の研究」思文閣出版、二〇〇〇年
- 「地主神の祭礼と大山崎惣町共同体」初出一九七六年
- 「中世都市の保について」『大阪樟蔭女子大学論集』三八、二〇〇一年
- 小林茂美「小野市の古墳文化について」『小野史談』九、一九八七年
- 小林美和「説話の生成と展開」『平家物語生成論』三弥井書店、一九八六年
- 駒井銅之助「伊良湖崎の東大寺瓦」『歴史考古』一七、一九六九年
- 五味文彦『大仏再建』講談社選書メチエ、一九九五。
- W・Rコムストック、柳川啓一監訳『宗教：原始形態と理論』東京大学出版会、一九七六年
- 小山靖憲「初期中世村落の構造と役割」歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本史』二、東京大学出版会、一九七〇年
- 「荘園制的領域支配をめぐる権力と村落」『日本史研究』一三九・一四〇、一九七四年
- 「古代荘園から中世荘園へ」『歴史地理教育』三二九、一九八一年
- 「中世根来寺の組織と経営」『中世寺社と荘園制』塙書房、一九九八年
- 五来重『仏教と民俗』角川書店、一九七六年
- 近藤喬一「瓦の生産と流通」永原慶二他編『講座日本技術の社会史』四、竊業、日本評論社、一九八四年
- 齋藤弘「中世墓における古墳の再利用」『HOMINIDS』二、一九九九年
- 坂井孝一「春日社黄衣神人の空間」五味文彦編『中世の空間を読む』吉川弘文館、一九九五年
- 櫻井彦「再考・『殺生禁断』法」『民衆史研究』四〇、一九九〇年
- 佐々木馨「中世国家の宗教構造」吉川弘文館、一九八八年
- 佐々木慶市「陸奥国好島庄」『文化』三一・二、一九三六年
- 「陸奥国好島庄補考」『東北文化研究所紀要』二、一九七〇年
- 「岩城惣領系譜考」『東北学院大学論集(歴史学・地理学)』二、一九七一年
- 佐々木虔一「八世紀の村落における仏教」『民衆史研究』九、一九七一年
- 佐々木孝正『仏教民俗史の研究』名著出版、一九八七年
- 佐藤重聖「考古資料からみた重源上人の行動とその背景」『南都仏教』八〇、二〇〇〇年
- 佐藤隆美・若松富士男「岩城氏系譜の検討」『いわき地方史研究』五、一九六八年
- 佐藤虎雄「伊勢国の経塚」『史林』二〇一、一九三五年
- 佐藤弘夫「荘園制支配と仏神」『日本中世の国家と仏教』吉川弘文館、一九八七年

- 〃 『神・仏・王権の中世』法蔵館、一九九八年
- 佐野知三郎「中世の忌日」『史迹と美術』五二六、一九八二年
- 寺院史研究会編『中世寺院史の研究』上・下、法蔵館、一九八八年
- 志賀伝吉『神谷村誌』一九七二年
- 柴田實『中世庶民信仰の研究』角川書店、一九六六年
- 「神と仏」初出一九五六年
- 渋谷敬三「式内水産物齋給試考」『祭魚洞棟考』岡書店、一九五四年
- 島地大等『日本仏教教學史』明治書院、一九三三年
- 清水三男「中世村落生活」『日本中世の村落』日本評論社、一九四二年
- 〃 「中世の座の特質について」『中世荘園の基礎構造』高桐書院、一九四九年
- 庄司吉之助・松井茂「好島荘の支配体制」いわき市教育委員会『いわき市史』六、一章二節、一九八六年
- 白水智「中世海村の百姓と領主」『列島の文化史』九、一九九四年
- シンポジウム「叡尊・忍性と律宗系集団」実行委員会編『叡尊・忍性と律宗系集団』大和中近研究会、二〇〇〇年
- 末木文美士「書評・平雅行『日本中世の社会と仏教』」『史学雑誌』一〇三―二、一九九四年
- 杉原和雄「経塚遺構と古墓」京都府埋蔵文化財調査研究センター編『京都府埋蔵文化財論集』一、同センター、一九八七年
- 鈴木景二「都鄙間交通と在地秩序」『日本史研究』三七九、一九九四年
- 鈴木国弘「東国山間村落の開発と『縁者』の世界」『日本大学人文科学研究所研究紀要』三八、一九八九年
- 鈴木鋭彦「中世寄進状における『不孝之仁』文言と『氏寺』付記について」『愛知学院大学文学部紀要』一六、一九八六年
- 鈴木三紀子「別所の聖」『史窓』三四、一九七五年
- 須田勉「平安初期における村落内寺院の存在形態」滝口宏編『古代探叢』Ⅱ、早稻田大学出版部、一九八五年
- 関和彦「古代村落と神祇信仰」『風土記と古代社会』塙書房、一九八四年
- 関根大仙「埋納経の内容としての法華信仰」『埋納経の研究』隆文館、一九六八年
- 関秀夫『経塚の諸相とその展開』雄山閣出版、一九九〇年
- 瀬田勝哉「中世祇園会の一考察」『日本史研究』二〇〇、一九七九年
- 曾我部静雄「古代における村と神社との関係」『日本歴史』一六二、一九六一年
- 藪田香融「古代仏教における山林修行とその意義」『南都仏教』四、一九五七年
- 〃 「古代仏教における宗派性の起源」『平安仏教の研究』法蔵館、一九八一年、初出一九七二年
- 〃 「座的構造論と宮座研究」『歴史評論』五二八、一九九四年
- 藪部寿樹「中世惣村文書の形成」『史潮』新二三、一九八八年
- 〃 「村落の歳時記」日本村落史講座編集委員会編『日本村落史講座』六、生活一、雄山閣出版、一九九一年
- 〃 「中世村落祭祀の神話的世界」西垣晴次先生退官記念宗教史・地方史論纂編集



- 委員会編『宗教史・地方史論纂』刀水書房、一九九四年
- 「村人の一年」鬼頭清明他編『体系日本史叢書』一五、生活史Ⅰ、山川出版社、一九九四年
- 「中世前期の百姓身分について」『日本史学集録』二〇、一九九八年
- V・ターナー、富倉光雄訳『儀礼の過程』思索社、一九七六年
- 「梶原景昭『象徴と社会』、紀國屋書店、一九八一年
- 平雅行「中世的異端の歴史的意義」『史林』六三―三、一九八〇年
- 「中世仏教の社会的展開」歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本歴史』三、中世一、東京大学出版会、一九八四年
- 「中世仏教と社会・国家」『日本史研究』二九五、一九八七年
- 「日本中世の社会と仏教」塙書房、一九九二年
- 「鎌倉仏教論」朝尾直弘他編『岩波講座日本通史』八、中世二、一九九四年
- 「仏教思想史研究と顕密体制論」『日本史研究』四二二、一九九七年
- 「殺生禁断の歴史的展開」大山喬平教授退官記念会編編『日本社会の史的構造』思文閣出版、一九九七年
- 高井悌三郎「常陸小田三村山境界石」『史迹と美術』二八三、一九五八年
- 高木豊「院政期における別所の成立と活動」『平安時代法華仏教史研究』平楽寺書店、一九七三年
- 「△願文▽研究序説」塚本啓祥編『法華経の文化と基盤』平楽寺書店、一九八二年
- 「願文・表白にみる法華信仰」渡辺宝陽編『法華仏教の仏陀論と衆生論』平楽寺書店、一九八五年
- 「因果応報思想の受容と展開」井上光貞・上山春平編『大系仏教と日本人』四、因果と輪廻、春秋社、一九八六年
- 高橋修「中世前期における武士居館と寺院」和歌山城郭調査研究会編『城（和歌山城郭調査研究会結成一〇周年記念誌）』一九九八年
- 高橋一樹「中世荘園の形成と『加納』」『日本史研究』四五二、二〇〇〇年
- 高橋秀樹「在地領主層における中世的『家』の成立と展開」『日本中世の家と親族』吉川弘文館、一九九六年
- 高橋梵仙「俊乘房重源の慈善救済事業」『日本慈善救済史の研究』三、社会事業研究所、一九四〇年
- 高橋昌明「西国地頭と王朝貴族」『日本史研究』二三一、一九八一年
- 瀧川政次郎「雑供戸考」『法制史論叢』二、一九八六年、初出一九五八年
- 竹内理三「上代に於ける知識に就いて」『史学雑誌』四二―九、一九三一年
- 竹沢尚一郎『象徴と権力：儀礼の一般理論』頸草書房、一九八七年
- 田澤坦「南無阿弥陀仏作善集」『美術研究』三〇、一九三四年
- 「南無阿弥陀仏作善集註解稿(1)」『武蔵野美術大学研究紀要』一、一九六三年
- 田中重久「日本靈異記に見える寺院址の研究」『奈良朝以前寺院址の研究』白川書院、一九七八年
- 田中久夫『仏教民俗と祖先祭祀』神戸女子大学東西文化研究所、一九八六年

- 田中文英「形成期における中世村落の特質」『ヒストリア』四二、一九六五年
- 〃「中世前期の寺院と民衆」『日本史研究』二六六、一九八四年
- 田中隆次「俊乗房重源の別所について」『(大阪教育大)歴史研究』一六、一九七九年
- 棚橋光男「中世伊勢神宮領の形成」『日本史研究』一五五・一五六、一九七五年
- 〃「中世国家の成立」歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本歴史』三、中世一、東京大学出版会、一九八四年
- 谷岡武雄・山田安彦「東播平野(加古川・明石川流域)の条坊(里)について」『地理学評論』二七・七・八、一九五四年
- 田端泰子「荘園研究史」永原慶二他編『講座日本荘園史』一、荘園入門、吉川弘文館、一九八九年
- 田村圓澄「鎌倉仏教の歴史的評価」『日本仏教史』三、鎌倉時代、法蔵館、一九八三年  
初出一九六九
- 田村憲美「中世村落の形成と『随近在地』『在地』」『日本中世村落形成史の研究』校倉書房、一九九四年
- 垂水稔「仏教的結界について」仏教民俗学研究会編『仏教民俗学大系』三、聖地と他界観、名著出版、一九八七年
- 竺沙雅章「宋代福建の社会と寺院」『東洋史研究』一五一二、一九五六年
- 辻善之助『日本仏教史』中世篇之一、岩波書店、一九四四年
- 〃『日本文化史』Ⅲ、春秋社、一九四九年
- 辻村泰善「西国三十三所と観音信仰」浅野清編『西国三十三所靈場寺院の総合的研究』中央公論美術出版、一九九〇年
- 土田直鎮「国司の神拝」『古事類苑月報』一〇、一九六八年
- 津田左右吉『文学に現はれたる我が国民思想の研究』(武士文学の時代)洛陽堂、一九一七年
- 土井光一郎「中世墓に関する一考察」『花園史学』一三、一九九二年
- 東郷松郎「太山寺と伊川上庄」『(神戸商科大学)商大論集』五六、一九六三年
- 戸田芳実「中世の封建領主制」家永三郎他編『岩波講座日本歴史』六、中世二、一九六三年
- 〃『日本領主制成立史の研究』岩波書店、一九六七年
- 〃「中世文化形成の前提」初出一九六二年
- 〃「王朝都市と荘園体制」朝尾直弘他編『岩波講座日本歴史』四、古代四、岩波書店、一九七六年
- 〃「国衙軍制の形成過程」日本史研究会史料研究部会編『中世の権力と民衆』創元社、一九七〇年
- 〃「初期中世武士の職能と諸役」朝尾直弘他編『日本の社会史』四、岩波書店、一九八六年
- 〃『歴史と古道』人文書院、一九九二年
- 富澤清人「中世檢注の特質」『日本史研究』二三三、一九八二年
- 〃「中世荘園と檢注」吉川弘文館、一九九六年
- 豊田武「大和の諸座」『歴史地理』六四・三・六、一九三四年

- 〃 『武士団と村落』吉川弘文館、一九六三年
- 〃 『豊田武著作集』六、吉川弘文館、一九八二年
- 「神社と村落統合」初出一九三八年
- 「中世の村落と神社」初出一九三九年
- H・ナウマン『ドイツ民俗学』川端豊彦訳、岩崎美術社、一九八一年
- 直木孝次郎『日本靈異記にみえる『堂』について』『奈良時代の諸問題』塙書房、一九六八年
- 永井英治「中世における殺生禁断令の展開」『年報中世史研究』一八、一九九三年
- 中井真孝「古代における共同体と仏教」『日本古代仏教制度の研究』法蔵館、一九九一年、初出一九七四年
- 中尾堯「備州における勸進聖の系譜」河合正治編『瀬戸内海地域の宗教と文化』雄山閣出版、一九七六年
- 〃 「重源を中心とする勸進聖集団の組織化と定着」立正大学史学会創立五〇周年記念事業実行委員会編『宗教社会史研究』雄山閣出版、一九七七年
- 〃 「俊乘房重源の宗教的系譜」井上光貞博士還暦記念会編『古代史論叢』下、吉川弘文館、一九七八年
- 〃 「中世勸進聖の系譜」『立正史学』四七、一九八〇年
- 中澤克昭「狩獵神事と殺生観の展開」『金沢文庫研究』二九七、一九九六年
- 〃 「中世城館研究と調査結果」藤沢市教育委員会編『大庭御厨の景観』一九九八年
- 中ノ堂一信「中世的『勸進』の形成過程」日本史研究会史料研究部会編『中世の権力と民衆』創元社、一九七〇年
- 〃 「東大寺大勸進職の成立」『日本史研究』一五二、一九七五年
- 中野栄夫「備前国と東大寺大勸進俊乘房重源」岡山県『岡山県史』四、中世I、一九九〇年、一章三節
- 永原慶二「領主制支配における二つの道」『日本中世社会構造の研究』岩波書店、一九七三年
- 〃 「熊野・伊勢商人と中世の東国」小川信先生の古稀記念論集を刊行する会編『日本中世政治社会の研究』続群書類従完成会、一九九一年
- 中村五郎「岩代承安経筒銘に見える藤井姓について」『大和文化研究』一〇一五、一九六五年
- 〃 「豊受大神宮禰宜度会氏の経塚造営とその周辺」『福島考古』三〇、一九八九年
- 中村明蔵「奈良時代の民衆仏教についての一考察」『続日本紀研究』六一二、一九五九年
- 永村眞「鎌倉期東大寺勸進所の成立と諸活動」『南都仏教』四三・四四、一九八〇年
- 〃 「東大寺大勸進職と油倉の成立」『民衆史研究』一一、一九八〇年
- 〃 「中世東大寺の組織と経営」塙書房、一九八八年
- 「『院家』の創設と発展」同右新稿
- 〃 「寺領」永原慶二他編『講座日本荘園史』二、吉川弘文館、一九九一年

- // 「寺院社会史と史料論」『中世寺院史料論』吉川弘文館、二〇〇〇年  
 成田貞寛「鎌倉期南都諸師の太子観・叡尊の場合」『印度学仏教学研究』一二―二、一九六四年  
 J・ニーダム著、東畑精一・藪内清共訳『中国の科学と文明』一〇、思索社、一九七九年  
 西尾和美「日本中世における家族と家族イデオロギー」『ヒストリア』一三三、一九九一年  
 西岡虎之助「中世荘民の精神生活」『荘園史の研究』下巻二、岩波書店、一九五六年  
 西垣晴次「中世村落における在地社寺」島田次郎編『日本中世村落史の研究』吉川弘文館、一九六六年  
 西口順子「いわゆる国衙の寺について」千葉乗隆博士還暦記念会編『日本の社会と宗教』同朋舎、一九八一年  
 西田円我「俊乗房重源の東大寺再建について」『仏教大学研究紀要』五四、一九七〇年  
 西谷勝也『季節の神々』慶友社、一九七〇年  
 西寺式部「上代末期から中世に至る別院別所の末寺への展開」『龍谷史壇』三六、一九五二年  
 西宮一民「ヤシロ（社）考」『上代祭祀と言語』桜楓社、一九九〇年  
 西郡邁『大衆の病理』日本放送出版協会、一九八七年  
 西谷地晴美「中世的土地所有をめぐる文書主義と法慣習」『日本史研究』三二〇、一九八九年  
 西山克「『中世神道』論のための覚書」『神道大系・月報』一一六、一九九三年  
 新田英治「鎌倉時代〜室町時代における塩の流通」日本塩業大系編集委員会『日本塩業大系』原始・古代・中世（稿）、日本専売公社、一九八〇年  
 丹生谷哲一「在地刀祢の形成と歴史的位置」大阪歴史学会編『中世社会の成立と展開』吉川弘文館、一九七六年  
 // 「春日社神人小考」岸俊男教授退官記念会編『日本政治社会史研究』下、境書房、一九八五年  
 根本修・出宮徳尚「中世・近世」近藤義郎編『岡山県の考古学』吉川弘文館、一九八七年  
 根本誠二「奈良仏教の僧侶と知識」『奈良仏教と行基伝承の展開』雄山閣、一九九一年  
 初出一九八〇年  
 野尻靖「律令制支配と放生・殺生禁断」『続日本紀研究』二四〇、一九八五年  
 // 「放生と民衆」下出積與編『日本宗教史論纂』桜楓社、一九八八年  
 // 「古代における放生の意義」神奈川地域史研究会編『居村放生木簡シンポジウム』の記録』一九八九年  
 芳賀登『民衆概念の歴史の変遷』雄山閣出版、一九八四年  
 萩原龍夫『中世祭祀組織の研究』吉川弘文館、一九六二年  
 裕慈弘『日本仏教の開展とその基調』上、三省堂、一九四八年  
 橋川正『日本仏教文化史の研究』中外出版、一九二四年  
 橋口定志「中世東国の居館とその周辺」『日本史研究』三三〇、一九九〇年

- 橋爪大三郎『仏教の言説戦略』頸草書房、一九八六年
- 橋本久和「武士の台頭と自然」大塚初重他編『考古学による日本歴史』一六、自然環境と文化、雄山閣出版、一九九六年
- 橋本道範「播磨国大部荘」石井進編『中世のムラ』東京大学出版会、一九九五年
- 島山聡「東大寺の国衙領支配について」『民衆史研究』四九、一九九五年
- 服部之聡『親鸞ノート』国土社、一九四八年
- 服部英雄『景観にさぐる中世』新人物往来社、一九九五年
- 濱島敦俊「明代の水利技術と江南地主社会の変容」柴田三千雄他編『シリーズ世界史への問い』二、生活の技術・生産の技術、岩波書店、一九九〇年
- 浜中邦弘「宇治神社遺跡」宇治市教育委員会編『宇治市埋蔵文化財発掘調査概報』三五、一九九六年
- 林一馬「神社神殿の成立とその契機」『建築雑誌』一一七五、一九八一年
- 林文理「地方寺社と地域信仰圏」『ヒストリア』九七、一九八二年
- 〃「中世如法経信仰の展開と構造」寺院史研究会編『中世寺院史の研究』上、法蔵館、一九八八年
- 林屋辰三郎「宇治離宮祭について」『中世藝能史の研究』岩波書店、一九六〇年
- 速水侑「平安貴族社会と仏教」吉川弘文館、一九七五年
- 〃「鎌倉武士と信仰」大隅和雄編『鎌倉時代文化伝播の研究』吉川弘文館、一九九三年
- 原勝郎「東西の宗教改革」『日本中世史の研究』同文館、一九二九年、初出一九二一年
- 原田敏明「神籬からお仮屋まで」『村の祭と聖なるもの』中央公論社、一九九〇年
- 原田正俊「中世社会の禅僧と時衆」『日本史研究』三二三、一九八八年
- 樋口州男「平安仏教と葬送」『中世の史実と伝承』東京堂出版、一九九一年
- 久永春男「藤原古墳群の歴史的背景」渥美町教育委員会編『渥美半島埋蔵文化財調査報告書』藤原古墳群、一九八八
- 久野修義「中世寺院と社会・国家」『日本史研究』三六七、一九九三年
- 〃「日本中世の寺院と社会」塙書房、一九九九年
- 〃「中世法隆寺の成立と別所」初出一九八四年
- 〃「中世成立期の地域開発と聖」初出一九九七年
- 日比野丈夫「唐宋時代に於ける福建の開発」『東洋史研究』四一三、一九三九年
- 平泉澄「中世に於ける社寺と社会との関係」至文堂、一九二六年
- 〃「中世に於ける精神生活」至文堂、一九二六年
- 平岡定海「中世に於ける周防国衙領の性格」『南都仏教』一、一九五四年
- 〃「周防阿弥陀寺の成立について」岸俊男教授退官記念会編『日本政治社会史研究』下、塙書房、一九八四年
- 平田寛・菊竹淳一「俊乘房重源関係寺社の仏像調査報告」『九州文化研究紀要』三四、一九八九年
- 平瀬直樹「中世寺院の組織構造と庄園支配」『日本史研究』二六七、一九八四年
- 平林盛得「聖と説話の史的研究」吉川弘文館、一九八一年
- 広瀬和雄「中世への胎動」近藤義郎他編『岩波講座日本考古学』六、一九八六年

- 〃 「中世村落の形成と展開」『物質文化』五〇、一九八八年
- 福岡猛志 「三河湾『海部』」『贅』木簡の諸問題」『歴史の理論と教育』七二、一九八八年
- 福島金治 「武蔵国久良岐郡六浦荘について」『金沢文庫研究』二五六・二五七、一九八一年
- 〃 「鎌倉極楽寺真言院長老禅意とその教学」『金沢北条氏と称名寺』吉川弘文館、一九九七年、初出一九九五年
- 福田東亜 「東大寺別所の一考察」『南都仏教』二三、一九六九年
- 服藤早苗 「平安貴族層における墓参の成立」藤井正雄他編『シリーズ比較家族』二、家族と墓、早稲田大学出版部、一九九三年
- 藤井昭 「宮座と名の研究」雄山閣出版、一九八七年
- 藤井駿 「俊乘房重源と備前国」『岡山史学』一、一九五五年
- 〃 「俊乘房重源遺蹟の研究」『岡山史学』一三、一九六三年
- 〃 「備中の国衙について」読史会編『国史論集』同会、一九五九年
- 藤井直正 「北摂勝尾寺八天の石蔵」『史迹と美術』三四七、一九六四年
- 藤井学 「中世宗教の成立」日本史研究会編『講座日本文化史』三、三一書房、一九六二年
- 藤澤典彦 「墓地景観の変遷とその背景」『日本史研究』三三〇、一九九〇年
- 〃 「中世墓地ノート」『仏教芸術』一八二、一九八九年
- 〃 「墓上祭祀の諸問題」『月刊歴史手帖』一九一―二、一九九二年
- 藤直幹 「中世武家社会の構造」目黒書店、一九四四年
- 藤本誠 「『日本靈異記』における仏教施設についての基礎的考察 ―『堂』を中心に―」歴史学研究会日本古代史部会例会報告要旨（二〇〇一年一〇月二七日）
- 藤原修 「田の神・稲の神・年神」岩田書院、一九九六年
- 二葉憲香 「日本古代仏教史の研究」永田文昌堂、一九八四年
- 仏教民俗学大系編集委員会編『仏教民俗学大系』一―七、名著出版、一九八六―九三年
- 不破英紀 「今昔物語集に見る国司と地方仏教」『宝塚造形芸術大学紀要』七、一九九三年
- 〃 「平安時代前期における国司と地方仏教」梅村喬編『伊勢湾と古代の東海』（古代王権と交流）名著出版、一九九六年
- 保阪三郎 「卒塔婆と経塚」『考古学雑誌』四二―四、一九五七年
- 細川涼一 「教尊・忍性の慈善救済」『中央大学大学院論究』一一一、一九七九年
- 〃 「中世の律宗寺院と民衆」吉川弘文館、一九八七年
- 〃 「河内の西大寺末寺と惣墓」初出一九八七年
- 〃 「法金剛院導御の宗教活動」同右新稿
- 〃 「中世律宗と社会・国家」『日本史研究』二九五、一九八七年
- 保立道久 「荘園制支配と都市・農村関係」歴史学研究別冊特集『世界史認識における民族と国家』一九七八年
- 〃 「中世前期の漁業と荘園制」『歴史評論』三七六、一九八一年
- 〃 「彦火々出見尊絵巻」と御厨の世界」田名網宏編『古代国家の支配と構造』

- 東京堂出版、一九八六年
- 〃 「中世における山野河海の領有と支配」朝尾直弘他編『日本の社会史』二、岩波書店、一九八七年
- 堀一郎『我が国民間信仰史の研究(一)』創元新社、一九五五年
- 前田和男「長徳寺と吾橋庄」『海南史学』二二、一九八三年
- 前田幹「備前国と俊乘房重源」『仏教芸術』一〇五、一九七六年
- 間壁忠彦・間壁葎子「願文より見た瓦経塚造営の意趣」『岡山史学』一五、一九六五年
- 松井茂「鎌倉時代の陸奥国好島庄」『歴史』四八、一九七六年
- 松井輝昭「狩倉についての一試論」『広島県史研究』四、一九七九年
- 松尾剛次「鎌倉新仏教の成立」吉川弘文館、一九八八年
- 〃 「結界の作法」『日本歴史』五三四、一九九二年
- 〃 「奈良西大寺末寺帳考」『三浦古文化』五一、一九九二年
- 〃 『勸進と破戒の中世史』吉川弘文館、一九九五年
- 松下みどり「禅と念仏の接点」『日本思想史学』二六、一九九四年
- 松原弘宣「畿内における諸津の性格と機能」『日本古代水上交通史の研究』吉川弘文館、一九八五年、初出一九七六年
- 松本彦次郎「鎌倉時代に於ける宗教改革の諸問題」『日本文化史論』河出書房、一九四二年
- 丸山茂「神社建築の形成過程における官社制の意義について」『建築史学』三三、一九九九年
- 三浦圭一「中世の土木と職人集団」永原慶二他編『講座日本技術の社会史』六、日本評論社、一九八四年
- 三枝暁子「中世寺院と地域社会」『都市史研究』四二、二〇〇一年
- 三上喜孝「雑令六斎日条の成立」『続日本紀研究』三〇二、一九九六年
- 三坂圭治「周防国府の研究」積文館、一九三三年
- 〃 「周防と俊乘房重源」南都仏教研究会編『重源上人の研究』同会、一九五五年
- 水谷類「国司神拝の歴史的意義」『日本歴史』四二七、一九八三年
- 水野章二「結界と領域支配」岸俊男教授退官記念会編『日本政治社会史研究』下、塙書房、一九八五年
- 〃 「中世村落と領域構成」『日本史研究』二七一、一九八五年
- 水原一「袈裟と盛遠」『新定源平盛衰記月報』三、一九八九年
- 峰岸純夫「中世社会の『家』と女性」歴史学研究会・日本史研究会編『講座日本歴史』三、中世一、東京大学出版会、一九八四年
- 〃 「東国武士の基盤」『中世の東国』東京大学出版会、一九八九年、初出一九七〇年
- 箕面市史編集委員会編『箕面市史』第一巻、一九六四年
- 三宅敏之「経塚の营造について」『史学雑誌』六七―一二、一九五八年
- 〃 「平安時代埋経供養の一形態」『日本歴史』一八一、一九六三年
- 〃 「経塚論攷」雄山閣出版、一九八三年
- 宮家準『宗教民俗学』東京大学出版会、一九八九年

- 宮崎円達「中世仏教と庶民生活」『日本仏教史学』一・二・三、一九四一・四二年
- 宮瀧交二「古代村落の『堂』」「塔影」二二、一九八九年
- 宮田登「長者の死」大林太良他編『民間説話の研究』同朋舎出版、一九八七年
- 〃「伝説と歴史」荒木博之他編『日本伝説大系』別巻一、みずうみ書房、一九八九年
- 三山進「福島県長福寺縁起と興正菩薩像」『金沢文庫研究』一一―三、一九六五年
- 三好基之「密教と阿弥陀信仰」岡山県『岡山県史』五、中世Ⅱ、一九九一年、四章一節
- 武藤誠「王塚古墳と焼山古墳群の調査覚書」『小野史談』五、一九八五年
- 村井康彦「古代国家解体過程の研究」岩波書店、一九六五年
- 村岡幹生「中世春日社の神人組織」『立命館文学』五二一、一九九一年
- 〃「鎌倉期における春日社散在神人の動向」『中京大学教養論叢』三三―二、一九九一年
- 村上泰亮『新中間大衆の時代』中央公論出版、一九八四年
- 村治円次郎「伊賀新別所新大仏寺に就いて」南都仏教研究会編『重源上人の研究』同会、一九五五年
- 村田正志「東大寺の造営と周防国衙領」『国史学』二二、一九三五年
- 村山修一「鎌倉時代の庶民生活」白井書房、一九四九年
- 毛利久「美術史料としての浄土寺縁起」赤松俊秀教授退官記念会編『赤松俊秀教授退官記念国史論集』同事業会、一九七二年
- 桃裕行「北条重時の家訓」養徳社、一九四七年
- 〃「忌日考」『国民生活史研究』五、一九六二年
- 森忠次「王塚・焼山古墳等の発掘調査と広渡廃寺跡の史跡公園化について」『小野史談』一四、一九九〇年
- 守屋茂「僧叡尊の網代停止と宇治橋の再興」『南都仏教』三二、一九七四年
- 〃「入唐三度支度第一俊乗房重源」『日本社会福祉思想史の研究』同朋舎出版、一九八五年
- 諸根樟一『石城郡町村史』歴史図書社、一九七七年
- 山折哲雄『仏教民俗学』講談社、一九九三年
- 山崎勇「好嶋荘」永原慶二他編『講座日本荘園史』五、吉川弘文館、一九九五年
- 山崎正和「柔らかな個人主義の誕生」中央公論出版、一九八四年
- 山下有美「古代中世の寺院社会と地域」『歴史評論』六二三、二〇〇二年
- 山村宏「一の谷中世墳墓群の発掘」石井進・萩原三雄編『中世の都市と墳墓』日本エッセイタースクール出版、一九八八年
- 山本幸司「貴族社会に於ける穢と秩序」『日本史研究』二八七、一九八六年
- 山本隆志「中世検注の意義」『地方史研究』一七〇、一九八一年
- 〃「荘園制の展開と地域社会」刀水書房、一九九四年
- 湯浅治久「『近江大原観音寺文書』における帳簿群の性格と機能」『駿台史学』一〇一、一九九七年
- 〃「日本中世の在地社会における寄進行為と諸階層」『歴史学研究』七三七、二〇〇〇年



- 横井清「殺生の愉悅」『月刊百科』三〇四、一九八八年
- 横井晴仁「中世神社史研究の基本問題」『新しい歴史学のために』二二七、一九九七年
- 横川末吉「長徳寺文書の研究」『土佐史談』九三、一九五八年
- 吉井敏幸「西国三十三所の成立と巡礼寺院の庶民化」浅野清編『西国三十三所靈場寺院の総合的研究』中央公論美術出版、一九九〇年
- 義江彰夫「律令制下の村落祭祀と公出挙制」『歴史学研究』三八〇、一九七二年
- 吉田一彦「僧尼と古代人」『寺院史研究』二、一九九一年
- 吉田清「別所について」『花園史学』四、一九八三年
- 「庶民信仰としての如法経」『源空教団成立史の研究』名著出版、一九九二年、初出一九六七年
- 吉田孝「律令時代の交易」弥永貞三編『日本経済史大系』東京大学出版会、一九五六年
- 米沢康「郡名寺院について」『大谷史学』六、一九五七年
- C・レヴィストロース、荒川幾男訳『構造人類学』みすず書房、一九七三年
- 「大橋保夫訳『神話と意味』みすず書房、一九九六年
- 脇田晴子「中世前期の座結合」『日本中世都市論』東京大学出版会、一九八一年
- 脇田秀太郎「宋様の獅子」『岡山春秋』三六、一九五五年
- 脇正典「防府天満宮の創建について」『佐波の里』二三、一九九五年
- 和田萃「東国への海つ道」『環境文化』五一、一九八〇年
- 和田千吉「伊勢国の瓦経」『考古学会雑誌』三一二、一八九九年
- 「伊勢発見の瓦経」『考古界』二一一二、一九〇三年
- 和田年弥「伊勢小町塚経塚の研究」『三重考古』三、一九八〇年
- 「伊勢小町塚瓦経の復原研究」『国学院雑誌』九一―九、一九九〇年
- 渡辺貞磨「『平家』文覚譚考―勸進聖と念仏聖」『大谷学報』五九―四、一九八〇年
- 渡邊浩史「鎌倉中期迄の『悪党』」『史叢』三八、一九八七年
- 綿貫友子「神人と海運」羽下徳彦『中世の地域社会と交流』吉川弘文館、一九九四年
- 和辻哲郎『日本倫理思想史』上、岩波書店、一九五二年
- 2-1-a 史料(刊本)
- 秋本吉郎校注『日本古典文学大系第二 風土記』岩波書店、一九五八年
- 伊井春樹編『源氏物語古注集成第一 花鳥餘情：松永本』桜楓社、一九七八年
- 石井進他校注『日本思想大系第二・二二 中世政治社会思想』岩波書店、一九七二・八一年
- 石田瑞麿校注『日本思想大系第六 往生要集』岩波書店、一九七〇年
- 石田瑞麿『仏典講座第一四 梵網経』大蔵出版、一九七九
- 井上光貞・大曾根章介校注『日本思想大系第七 往生伝・法華験記』岩波書店、一九七四年
- 今江広道校訂『史料纂集第三・第七・第四一・第五八 公衡公記』続群書類従完成会、一九六八―七九年
- いわき市史編さん委員会編『いわき市史第八 古代中世史料編』いわき市、一九七六年
- 遠藤嘉基・春日和男校注『日本古典文学大系第七〇 靈異記』岩波書店、一九六七年

- 大阪府史蹟名勝天然記念物保存調査会編『勝尾寺文書』大阪府、一九三一年
- 大津市『新修大津市史第九』大津市、一九八六年
- 奥野高広・岩沢憲彦校訂『史料纂集 古文書編一三一』賀茂別雷神社文書『続群書類  
従完成会、一九八八年
- 小野史談会翻刻『中島村由緒書』『小野史談』二、一九八四年
- 小浜市史編纂委員会編『小浜市史 諸家文書編三』小浜市役所、一九八一年
- 園城寺編『智証大師全集第一〜三』同朋社、一九七二〜七八年
- 梶原正昭・山下宏明校注『新日本古典文学大系第四四・四五 平家物語』岩波書店、一  
九九一・九三年
- 加東郡誌編纂委員会編『新修加東郡誌』臨川書店、一九八七年
- 神奈川県立金沢文庫『金沢文庫古文書第一〜一七』神奈川県立金沢文庫、一九五二〜六  
一年
- 神奈川県立金沢文庫編『中世の地獄 絵画と説話にみる地獄の風景』一九九七年
- 北原保雄・小川栄一編『延慶本平家物語』本文篇上、勉誠社、一九九〇年
- 宮内庁書陵部編『図書叢刊 政基公旅引付』養徳社、一九六一年
- 宮内庁書陵部編『図書叢刊 夫木和歌抄一〜五』明治書院、一九八四〜八八年
- 宮内庁書陵部編『図書叢刊 九条家本玉葉一〜八』宮内庁書陵部、一九九四〜二〇〇  
〇年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第一(上・下) 日本書紀』吉川弘文  
館、一九七四年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第二 続日本紀』吉川弘文館、一九七  
五年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第三 日本後紀・続日本後紀・日本文  
徳天皇実録』吉川弘文館、一九六六年(普及版、各一九七五・七四・七四年)
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第四 日本三代実録』吉川弘文館、一  
九七四年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第一二 扶桑略記・帝王編年記』吉川  
弘文館、一九六五年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第一三〜一五 続史愚抄』吉川弘文館、一  
九六六年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第一七 今昔物語集』吉川弘文館、一  
九六七年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第二五(上・下) 類聚三代格』吉川  
弘文館、一九七四年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第二八(前・中・後) 政事要略』吉  
川弘文館、一九七四年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第三二・三三 吾妻鏡(上・下)』吉  
川弘文館、一九六四〜六五年
- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第五三〜五七 公卿補任』吉川弘文館、  
一九六四〜六六年

- 黒板勝美、国史大系編修会編『新訂増補国史大系第五八〇下・別巻 尊卑分脈』吉川弘文館、一九六六〜六七年
- 黒川春村編『歴代残闕日記第七 為房卿記他』臨川書店、一九八九年
- 群馬県史編さん委員会編『群馬県史 資料編六』群馬県、一九八四
- 小泉弘解説『三宝絵詞(上・下)』勉誠社、一九八五年
- 神戸市立博物館編『太山寺の名宝展』一九九三年
- 神戸市立博物館編『日中歴史海道二〇〇〇年』一九九七年
- 国書刊行会編『続々群書類従第一 神祇部』続群書類従完成会、一九七〇年
- 国書刊行会編『続々群書類従第六 法制部』続群書類従完成会、一九七〇年
- 古辞書叢刊刊行会編『倭名類聚抄 一〇巻本』古辞書叢刊刊行会、一九七五年
- 故実叢書編集部編『新訂増補故実叢書三一 西宮記』明治図書出版会、一九五四年
- 古代学協会編『禪定寺文書』吉川弘文館、一九八一年
- 小林剛編『奈良国立文化財研究所史料第四 俊乘房重源史料集成』吉川弘文館、一九六五年
- 小林保治校注『古典文庫 古事談』現代思潮社、一九八一年
- 小松茂美編『日本絵巻大成第一八 石山寺縁起』中央公論社、一九七八年
- 小松茂美編『続日本絵巻大成第一二 山王靈験記・地藏菩薩靈験記』中央公論社、一九八四年
- 小松茂美編『日本絵巻大成別巻 一遍上人絵伝』中央公論社、一九七八年
- 小松茂美編『続日本絵巻大成第二〇 法然上人絵伝』中央公論社、一九八一年
- 小松茂美編『続日本絵巻大成第一〇 阿字義・華嚴五十五所絵巻・法華経絵巻』中央公論社、一九八四年
- 小松茂美編『続日本絵巻大成第一六 松崎天神縁起』中央公論社、一九八三年
- 佐竹昭広・久保田淳校注『新日本古典文学大系第三九 方丈記・徒然草』岩波書店、一九八九年
- 佐藤進一・池内義資編『中世法制史料集一』岩波書店、一九五五年
- 佐藤密雄訳『国訳一切経 和漢撰述部第七〇・七一 史伝部二・三』大東出版社、一九五九年
- 神宮古典籍影印叢刊編集委員会編『神宮古典籍影印叢刊第六 神宮神領記』皇学館大学、一九八三年
- 神道大系編纂会編『神道大系 神宮編五』神道大系編纂会、一九八五年
- 神道大系編纂会編『神道大系 神社編一三』神道大系編纂会、一九八五年
- 神道大系編纂会編『神道大系 神社編三九』神道大系編纂会、一九八九年
- 関秀夫編『経塚遺文』東京堂出版、一九八五年
- 瀬野清一郎編『鎌倉幕府裁許状集(上・下)』吉川弘文館、一九七〇年
- 増補史料大成刊行会編『増補史料大成九〇一五 中右記』臨川書店、一九六五年
- 増補史料大成刊行会編『増補史料大成一八〇二二 兵範記』臨川書店、一九七五〇一八一年
- 増補史料大成刊行会編『増補史料大成二三〇二五 台記』臨川書店、一九七五年
- 増補史料大成刊行会編『増補史料大成三四・三五 勘仲記』臨川書店、一九七五年

- 高市志友・他『版本地誌大系第九 紀伊国名所図会』臨川書店、一九九六年
- 高橋順次郎・渡邊海旭都監『普及版大正新修大藏經第一六 經集部三』大藏出版、一九八九年
- 高橋順次郎・渡邊海旭都監『普及版大正新修大藏經第三三・三四 經疏部一・二』大藏出版、一九八九年
- 高橋順次郎都監・小野玄妙編修『普及版大正新修大藏經 図像部第一一・一二』大藏出版、一九八九年
- 高山利弘編著『訓読四部合戦状本平家物語』有精堂出版、一九九五年
- 竹内理三編『平安遺文 古文書編一』一巻、題跋・金石文編』東京堂出版、一九四七～八〇年
- 竹内理三編『鎌倉遺文 古文書編一』四二巻、同補遺一～四巻』東京堂出版、一九七～九七年
- 田中敏子校訂「性公大徳譜」『鎌倉』二一、一九七三年
- 玉山成元校訂『史料纂集 古文書編一〇 飯野八幡宮文書』続群書類従完成会、一九八三年
- 田山方南校閲・北野克写『名語記』勉誠社、一九八三年
- 智山全書刊行会編『智山全書第二〇』智山全書刊行会、一九六六年
- 筒井英俊校訂『東大寺要録』国書刊行会、一九七七年
- 東京大学史料編纂所編『花押かがみ第一～四』東京大学、一九六四～八五年
- 東京大学史料編纂所編『大日本古記録第一（上・中・下） 御堂関白記』岩波書店、一九七七年
- 東京大学史料編纂所編『大日本古記録第一〇一～一〇一 小右記』岩波書店、一九五九～八六年
- 東京大学史料編纂所編『大日本古文書 家わけ第一七一～一七 大徳寺文書』東京大学、一九四三～六八年
- 東京大学史料編纂所編『大日本古文書 家わけ二〇ノ一～四 東福寺文書』東京大学、一九五六～六二年
- 東京大学史料編纂所編『大日本古文書 編年第一五 正倉院文書』東京大学出版会、一九八七年
- 藤堂元甫原編、蘆田伊人編集校訂『大日本地誌大系 第三期三二・三三 三国地誌』雄山閣出版、一九七〇年
- 栃木県史編さん委員会『栃木県史 史料編中世三』栃木県、一九七八年
- 富尾似船・守拙齋編『新修京都叢書第九 名所都鳥』光彩社、一九六八年
- 虎尾俊哉校注『神道大系 古典編一・一二 延喜式（上・下）』神道大系編纂会編、一九九一～九三年
- 永島福太郎編集校訂『春日大社文書第一』一六巻』春日大社、一九八一～八六年（吉川弘文館発売）
- 永島安明・島田勇雄校注『日本古典文学大系第八四 古今著聞集』岩波書店、一九七六年
- 中田祝夫解説『東大寺諷誦文稿』勉誠社文庫、一九七六年

奈良国立博物館監修『社寺縁起絵』角川書店、一九七五年

奈良国立文化財研究所編『奈良国立文化財研究所資料第一冊』一九五五年

奈良国立文化財研究所監修『西大寺觀尊傳記集成』法藏館、一九七七年

仁井田好古『紀伊統風土記第一』五臨川書店、一九九〇年

西野春雄校注『新日本古典文学大系第五七 謡曲百番』岩波書店、一九九八年

長谷川誠編著『補訂版 興正菩薩御教誠聰聞集・金剛仏子觀尊感身学正記』西大寺、一

九九四年

塙保己一編『群書類從第一 神祇部一』群書類從完成会、一九五九年

塙保己一編『群書類從第二 神祇部二』群書類從完成会、一九五九年

塙保己一編『群書類從第一八 日記部・紀行部』群書類從完成会、一九五九年

塙保己一編『群書類從第二四 釈家部』群書類從完成会、一九六〇年

塙保己一編『群書類從第七下 系凶部』群書類從完成会、一九五七年

塙保己一編『群書類從第八上 伝部』群書類從完成会、一九五七年

塙保己一編『群書類從第一九下 遊戯部・飲食部』群書類從完成会、一九五七年

塙保己一編『群書類從第二七下 釈家部』群書類從完成会、一九五七年

塙保己一編『群書類從第二八上 釈家部』群書類從完成会、一九五七年

塙保己一編、太田藤四郎補『群書類從補遺二(上・下) 看聞御記』群書類從完成

会編、一九五八、五九年

羽曳野市『羽曳野市史第四 史料編二』羽曳野市、一九八一年

久野健編『造像銘記集成』東京堂出版、一九八五

兵庫県史編集専門委員会編『兵庫県史 史料編古代三』兵庫県、一九八六年

兵庫県史編集専門委員会編『兵庫県史 史料編中世一、五』兵庫県、一九八三、九〇年

広島県編『広島県史 古代中世資料編IV』広島県、一九七八年

福田榮次郎・神崎彰利校訂『史料纂集 古文書編第三二 大原観音寺文書』群書類從

完成会、二〇〇〇年

藤井貞文・小林花子校訂『史料纂集第二・第五・第九・第一五・第二一・第二五・第三

七・第四〇・第四四・第四九・第六三 師守記』群書類從完成会、一九六八、三

二年

藤井駿・水野恭一郎編『岡山県古文書集第三』山陽図書出版、一九五六年

仏書刊行会編『大日本仏教全書第一四 法華義疏他』名著普及会、一九七八年

松岡久人編『南北朝遺文 中国・四国編第一』六卷』東京堂出版、一九八〇、九五年

松尾大社史料集編修委員会編『松尾大社史料集 文書篇第一』松尾大社社務所、一九七

七年

松野元敬・黒川道祐・秋里離島編『新修京都叢書第二 日記記事』光彩社、一九六七年

水谷忠磨編、永島福太郎校訂『統史料大成第四七、四九 春日社記録』臨川書店、一九

七九年

水原一考定『新定源平盛衰記第一』六』新人物往来社、一九八八、九一年

箕面市史編集委員会編『箕面市史 史料編第一』箕面市役所、一九六八年

村田正志・中野達平校訂『史料纂集 古文書編第一』一、二 光明寺文書』群書類

從完成会、一九八五、八七年

目崎徳衛校訂・解説『侍中群要』吉川弘文館、一九八五年  
諸根樟一編著『磐城誌料叢書全冊』勿来文庫、一九三一年  
安田孝子他『撰集抄 校本篇』笠間書院、一九七九年  
柳川古文書館編『筑後鷹尾文書』一九九五年  
山口県文書館編『防長寺社由来第一〜七』山口県文書館、一九八二〜八六年  
山口県文書館編『防長風土注進案第一〜三三』山口県立山口図書館、一九六〇〜六六年  
四倉郷土史資料研究会『四倉郷土史資料集成』三、一九五六年  
冷泉時雨亭文庫編、川村兎生解説『冷泉時雨亭叢書第二四 散木奇歌集』朝日新聞社、  
一九九三年

和歌山県史編さん委員会編『和歌山県史 中世史料二』和歌山県、一九八三年  
和歌山市史編纂委員会編『和歌山市史第四』和歌山市、一九七七年  
渡辺綱也校注『日本古典文学大系第八五 沙石集』岩波書店、一九六五年

### 21b 史料(原本・写本・写真)

渥美町郷土資料館所蔵「小町塚経塚出土資料」(現物・複製・写真)  
東京大学史料編纂所架蔵「阿弥陀寺文書」(写真)  
東京大学史料編纂所架蔵「大山寺文書」(写真)  
東京大学史料編纂所架蔵「勸修寺家本永昌記」(写真)  
東京大学史料編纂所架蔵「古文叢」(写本)  
東京大学史料編纂所架蔵「東大寺文書」(写真)  
東京大学史料編纂所架蔵「東寺百合文書」(写真)  
内閣文庫所蔵「土佐国羣簡集」(謄写本)  
兵庫県小野市浄土寺歛喜院所蔵「浄土寺文書」(原本)  
兵庫県小野市西本町・前田定男氏所蔵「公私日記」(原本)  
広島県尾道市浄土寺所蔵「浄土寺文書」(原本)  
柳川古文書館所蔵「鷹尾神社文書」(原本)  
飯野文庫所蔵「飯野八幡宮文書」(写真)

### 3 調査報告書

愛知県『豊川用水路関係遺跡調査報告』一九六四年  
渥美町教育委員会『渥美半島埋蔵文化財調査報告書』瓦場遺跡群、一九六六年  
渥美町教育委員会『渥美半島埋蔵文化財調査報告書』伊良湖東大寺瓦窯群、一九六七年  
渥美町教育委員会『渥美半島埋蔵文化財調査報告書』藤原古墳群、一九八八年  
いわき市教育委員会『いわきの条里制遺構調査報告書』一九八四年  
小野市教育委員会『播磨国大部荘現況調査報告書』I〜VI、一九九一〜九六年  
筑波大学中世史研究会「大部荘現地調査報告」1〜8、『日本史学集録』一〇、一一、  
一二、一四、一六、一七〜二〇、一九九〇〜九七年  
西の浜久衛森遺跡同調査団『西の浜久衛森遺跡』一九八〇年  
奈良国立文化財研究所「平城宮第十三次発掘調査出土木簡概報」一九六三年  
奈良国立文化財研究所「平城宮発掘調査出土木簡概報」一〇、一九七五年

奈良国立文化財研究所『平城宮発掘調査出土木簡概報』二四、一九九一年  
防府市『防府市文化財調査年報』Ⅱ、一九八〇年

#### 4 辞典類

角川日本地名大辞典編纂委員会編『日本地名大辞典第二四 三重県』角川書店、一九八三年

角川日本地名大辞典編纂委員会編『日本地名大辞典第三五 山口県』角川書店、一九八八年

国史大辞典編集委員会編『国史大辞典第一〇一五』吉川弘文館、一九七九～一九七七年  
統群書類従完成会編『群書解題第八・一六〇一八・二二〇』統群書類従完成会、一九六二～六五年

日本地誌研究所『日本地誌第一三』二宮書店、一九七六年

平凡社編『日本歴史地名大系第二六 京都府の地名』平凡社、一九八一年

水野清一・小林行雄編『図解考古学辞典』東京創元社、一九五九年

望月信亨、塚本善隆編『望月仏教大辞典第一〇』世界聖典刊行協会、一九三三年